

# 京都市 農林業だより



発行 京都市  
産業観光局  
農林振興室  
農政企画課



〒604-8571  
京都市中京区寺町通御池上る  
上本能寺前町 488 番地  
電話 (075)222-3351

[http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-4-0-0-0\\_1.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-4-0-0-0_1.html)

## 道の駅効果で、売上増加！ 「ウッディー京北」

右京区京北周山町にある「京都市地域 特産物需要拡大センター（ウッディー京北）」が、「道の駅」として国土交通省の登録を受け、平成22年4月17日（土）に、開駅の式典が行われました。

「ウッディー京北」は、平成7年に京北地域の林業や木材のPRを行うことを目的としてオープンしており、平成21年度に「京都市・京北町合併建設計画」に基づき、「道の駅」登録に必要な駐車場の拡張工事等を



門川市長から指定管理者である（財）きょうと京北ふるさと公社の石浦常務理事に駅長の制帽が授与されました。

行ったものです。

17日の開駅後現在まで、多数の方々にご来場いただき、加工食品や地元産野菜などの売れ行きが好調となっております。

本市としては、京北地区を中心とする北部山間地域の活性化の拠点として、大いに期待しており、今後は、リピーター等の確保に向けた供給体制の更なる整備と品質の維持向上に地域の農林家の皆様とともに取り組んでまいります。



開駅の式典後、ウッディー京北の店内で品定めをする来場者の皆さん

平成22年4月1日から、組織の名称が変わりました。

### 農林振興室ホームページ

京のやま道・京のあぜ道にて京都市の旬な農林業や農林行政に関する記事を随時更新中！是非ご覧ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000070943.html>

| 旧       | 新             |
|---------|---------------|
| 農業計画課   | → 農政企画課       |
| 農業振興整備課 | → (変更なし)      |
| 林業振興課   | → (変更なし)      |
| 北部農業指導所 | → 北部農業振興センター  |
| 西部農業指導所 | → 西部農業振興センター  |
| 東部農業指導所 | → 東部農業振興センター  |
| 京北農林事務所 | → 京北農林業振興センター |

新しい品種として検討してみませんか？

「京の苗木(地域性苗木)」「生産技術講習会を開催します!!」

京都市域面積の約4分の3を占める森林は、近年、シカの食害等による林床の裸地化やマツ枯れ・ナラ枯れの拡大が進み、生物多様性や二酸化炭素の固定などの森林の多面的機能の低下が懸念されています。そのため、これからの森林整備には、生物多様性などの生態系の保全に配慮した森づくりが求められています。

そこで京都市では、今年度から、市域に自生する樹木の種子から育てた地域性苗木Ⅱ「京の苗木」の生産体制の整備を進め、生産を希望される農林家等の皆さんに対して技術支援を行うこととしました。

今回、次のとおり「京の苗木」の生産推進事業の説明と生産技術の講習会を開催いたしますので御参加ください。

【「京の苗木(地域性苗木)」

生産技術講習会】

■日 時 7月27日(火)

午後2時～4時

■場 所 ルビノ京都堀川

■応募資格 市内在住の農林家等

■募集期間 7月1日～7月23日

■募集人数 先着50名

■申し込み方法

「住所」「氏名」「電話番号」を御記入のうえ、FAX又はハガキで林業振興課までお申し込みください。(7月23日必着)

《質問1：なぜ種子からの？》  
挿し木や接ぎ木は、母樹のクローンであるため、遺伝的に全く同じになります。



挿し木・接ぎ木=母樹のクローン

種子から育てると、母樹とは違った形質を持つこととなり、これが生物の多様性につながります。



種子(実生)=遺伝的なバラツキ

《質問2：なぜ京都市域に自生している木なの？》

それぞれの「地域」における進化の長い歴史を経て形づくられた「地域」固有の生物相を保全することが、生物多様性の保全につながります。

【お問い合わせ・申込先】

林業振興課「京の苗木」担当  
TEL：222-3346  
FAX：221-1253  
〒604-8571 (住所不要)  
京都市産業観光局農林振興室林業振興課  
「京の苗木」担当 宛

越畑「棚田の里」整備事業

右陰地区は越畑、椋原の二つの集落から成る、中山間農業地域です。少子・高齢化による過疎化や農業の担い手の不足が問題となっています。

こうした課題解決に向けた農業振興対策事業として、平成21年度から23年度まで、越畑地域で「棚田の里」整備事業に取り組んでいます。

平成21年度は、都市農村交流施設「まつばら」に浄化槽設置を行いました。これにより、地域環境への負荷軽減が図れるとともに、施設の快適性向上により、訪問者の満足度が高まることとが期待されます。



越畑の棚田



椋原の鎧田

また、右陰地区において、農村の「里力」を再生するため、地域情報の発信、散策道、眺望ゾーンの設置などの里力再生事業にも取り組まれます。「里力」とは、地域の絆を回復し、知恵を出し合い、協働して課題解決に取り組む力のことです。この事業により、次の10年、20年先の地域を維持するための仕組みづくりを検討していきます。

## 洛北農業クラブ

「洛北農業クラブ」は、約40年前に、北区上賀茂・大宮地域の二、三十代の若い農業後継者を中心に、栽培技術向上や地域の農業振興を目的として結成されました。現在は、結成時の子の世代が家業を継ぎ、徐々に会員も増えて、総勢26名で活動しています。

クラブでは毎年、トマト・賀茂なすのほか場巡回や視察研修等を行い、栽培技術の向上のため活発に意見交換をしています。また、会員の有志が、百貨店への共同出荷や即売を行うなど、振売り以外の新しい売り方も積極的に模索しています。

そのほか、イベント等での野菜の即売や、体験農場での野菜づくりを通して、積極的に市民との交流を図っています。

「上賀茂・大宮の農家は、振売りや直売所などで、新鮮な旬の野菜を市民に提供できるのが特徴です。これからも、クラブの活動を通じて、市民に喜んでもらえる、よりおいしい野菜づくりを目指していきま



## 土地改良に係る補助金に関する規則、要綱を改正

京都市では、平成22年4月から京都市補助金等の交付等に関する条例が新たに施行され、条例に基づき補助金の交付先、交付額等が毎年、公表されることとなりました。これに伴い、京都市土地改良事業補助金交付規則、京都市土地改良事業補助金交付要綱及び農業振興対策事業補助金交付要綱を一部改正しましたのでお知らせします。

主な改正点は、以下のとおりです。

- ①申請から事業着手までの期間を短縮できる特例制度を設けました。
- ②揚水施設に限り、単独受益でも一定の条件を満たす場合、補助金の交付対象としました。
- ③補助対象として、水源を上水道に変更する事業を明記しました。

個別の相談等は、これまで同様に各農業振興センター又は京北農林業振興センターへお願いします。

農林振興室の所管する要綱等を  
農林振興室ホームページに掲載しております。御活用ください！

京都市トップページ ▽ 市政ガイド ◆ 産業と観光 ▽ 農林業 ▽ 所管要綱等

## 戸別所得補償モデル対策

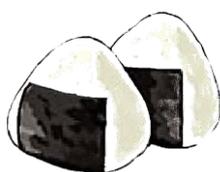
4月から、自給力向上のための新しい支援事業である戸別所得補償モデル対策がスタートしました！この対策には、水田利活用自給力向上事業と米戸別所得補償モデル事業の二つの事業があります。

事業に加入した方には、現地確認後、秋に「交付対象面積通知書」と「交付申請書」が届きます。届いた「**交付申請書**」を提出しなければ、**指定口座に交付金が振り込まれません**ので注意してください。

また、水田利活用自給力向上事業に該当する方は、交付申請書を提出する際に、捨てづくり防止を確認するための書類（**出荷契約及び作業日誌・出荷伝票等の写し**、または**所定の報告書**）を添付してください。

**交付申請書への捺印や対象作物の栽培・収穫・販売の記録、伝票等の保管をお忘れなく！**

お問い合わせは、農政企画課、  
最寄りの農業振興センター、又は  
京北農林業振興センターまで。



# 京都北山杉の里総合センター オープン！

川端康成の小説にも登場し、独特の美しい木立の景観を形成するなど、京都を代表する木ともいえる「北山杉」。

この北山杉から加工される北山丸太は、「磨き」工程を経て滑らかなで光沢のある木肌となります。

しかし近年、北山丸太の需要の低迷と担い手の減少がみられるようになってきており、この北山杉の美しい景観と生産・加工技術の継承が心配されています。

京都北山杉の里総合センター全景  
(美しい北山杉を背景に)



スギ材特有の  
あたたかい手触りの内装

そこで、この伝統ある北山杉、北山丸太の振興を図るための施設として、平成22年4月8日「京都北山杉の里総合センター」がオープンしました！

これまで北山丸太の使い方としては「床柱」が有名ですが、京都北山杉の里総合センターでは、丸太の持つ独特の美しい木肌や趣きを生かした新用途の開発のほか、特徴ある北山杉の景観を生かしたイベントや「磨き」工程の体験事業等を実施するなど、観光振興としての拠点の役割も担っていく予定です。

これらを通じて、地域の活性化をこれからも力強く進めていきます！

# 第41回 花と緑の市民フェア 開催

第41回花と緑の市民フェアが4月24日(土)・25日(日)の2日間、左京区岡崎の京都市勧業館(みやこめっせ)で開催され、約二万四千人の来場者で賑わいました。

「京・ゆめ・花文化」を京を愛でる「四季の香り」をテーマに、芳香のある植物を使い、花や緑の本来の「香り」を来場者に楽しんでいたいただけるような創意工夫がなされた大装飾花やフラワーアレンジメントの展示、ステージイベントなどが行われたほか、フラワーアレンジや寄せ植えの講習会にも多くの方に御参加いただきました。



京都では昔から、暮らしに花を取り入れ、四季を感じる心を育んできました。しかし、近年花の消費は伸び悩み、厳しい状況が続いています。このイベントを通じて、鑑賞するだけでなく、香りなどの様々な花の効用を市民の皆様にも知っていただき、花と緑をもっと身近に感じていただくことで花の需要が拡大し、花き業界が活気づくよう期待しています。